

NAGASAKI

看護連盟だより



第7回全国ポリナビワークショップin長崎

想像・創造 つく
未来そうぞう 夢は創れる

目次	総会プログラム…………… 2	施設代表者・看護管理者研修会…………… 7
	長崎県看護連盟25年度活動予定表…………… 3	ジャンプ報告…………… 8
	長崎県看護連盟会長あいさつ…………… 4	施設紹介(みてみて my 病院)…………… 9
	長崎県看護連盟名誉会長あいさつ…………… 5	第7回全国ポリナビワークショップ in 長崎…10~11
	高階恵美子参議院議員あいさつ…………… 6	総会案内、編集後記…………… 12
	佐世保市立総合病院副院長・ 佐世保市立看護専門学校校長昇格…………… 6	

平成25年度

長崎県看護連盟

通常総会プログラム

平成25年 6月29日(土)

13:00~16:30

ながさき看護センター

12:00	開 場	
12:50	オリエンテーション	
13:00	開 会	
	物故会員への黙祷	
	挨拶	
	表彰	
	来賓祝辞	
	祝電披露	
14:15	議長団選出	
	経過報告	1. 平成24年度 長崎県看護連盟通常総会報告 2. 平成24年度 都道府県会長会報告 3. 平成24年度 役員会報告 4. 平成24年度 委員会報告 5. 平成25年度 日本看護連盟通常総会代議員報告
14:35	審議事項	1. 平成24年度 長崎県看護連盟活動報告(案) 平成24年度 支部活動報告(案) 2. 平成24年度 収支決算報告書(案) 3. 平成24年度 監査報告(案) 4. 平成25年度 長崎県看護連盟スローガン(案) 5. 平成25年度 長崎県看護連盟活動計画(案) 6. 平成25年度 収支予算書(案) 7. 平成26年度 日本看護連盟通常総会 代議員選出について 8. 役員選出 9. 平成26年度 長崎県看護連盟通常総会 開催地について
	綱領宣言	
	日本看護連盟歌斉唱	
15:45	閉 会	
15:50	決起大会	
16:30	閉 会	

平成25年度 長崎県看護連盟活動予定表(案)

重点目標：1、看護の代表を国政に必ず送る 2、確かな政策実現力を持つ 3、強力な集票力を持つ 4、多くの人材提供力を持つ

1. 各支部の目標達成のための実践活動を支援する (確かな名簿作戦の実践・選挙違反防止対策を考慮した実践活動)

2. リーダーの選挙知識を高め、安全な実践力を強化する

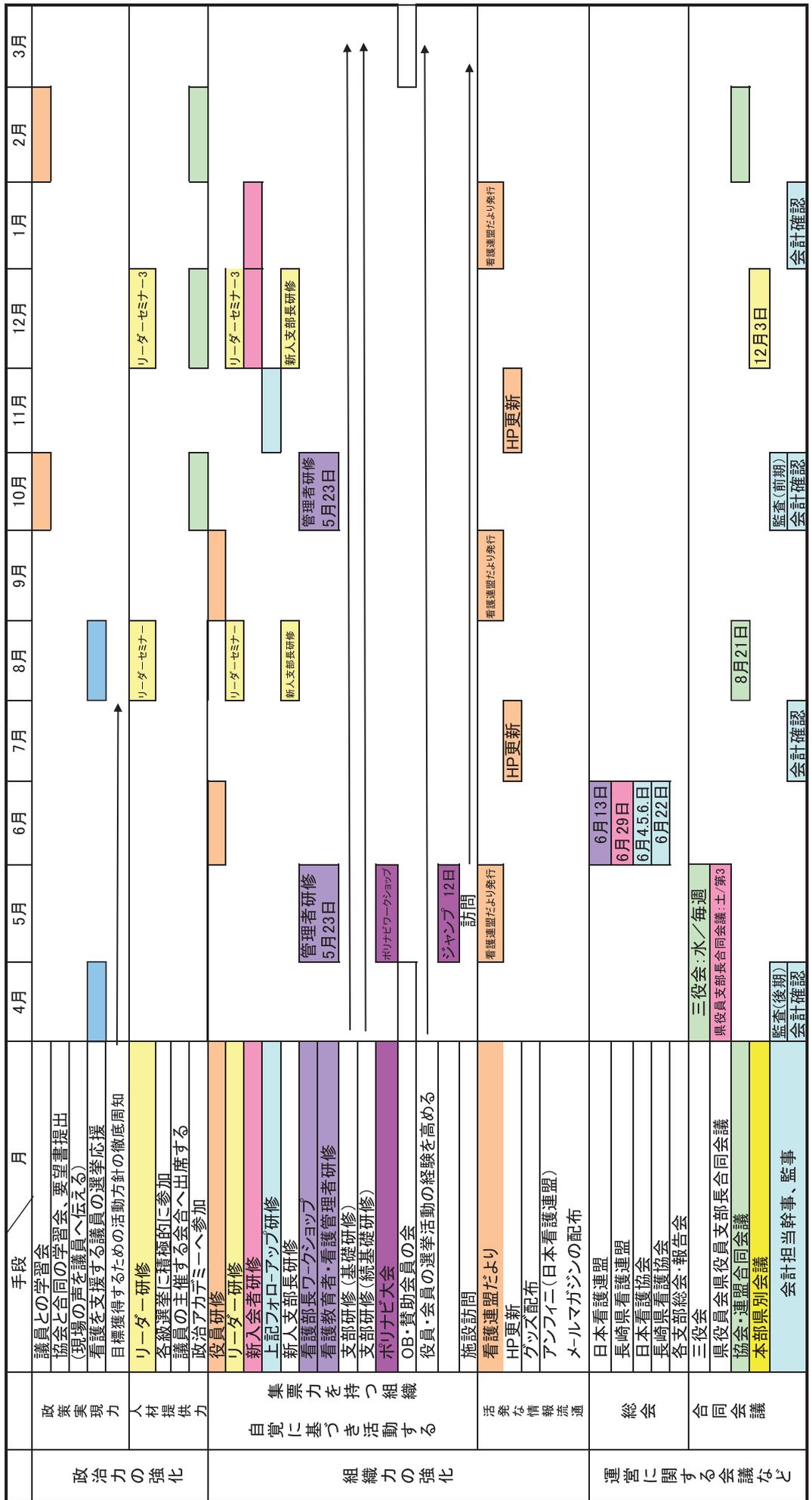
3. 若手会員、無関心看護職の政治参加を促進する

4. 看護職の現状を広く社会に紹介する

5. 看護協会の政策実現に向けての活動およびその他必要とする問題に取り組む



手段	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政治力の強化	議員との学習会 協会と合同の学習会、要望書提出 (現場の声を議員へ伝える) 看護を支援する議員の選挙応援 目標獲得するための活動方針の徹底周知											
	人材提供力											
組織力の強化	自覚に基づき活動する											
	集票力を持つ組織											
	活発な情報流通											
	総会											
運営に関する会議など	合同会議											
	三役会											
	県役員会 県役員支部長合同会議 協会・連盟合同会議 本部県別会議											
	会計担当幹事、監事											



会計確認

監査(前期) 会計確認

会計確認

監査(後期) 会計確認



ごあいさつ

長崎県看護連盟 会長 金澤 きみ代

花々が美しさを誇る華やかな季節を迎えました。

皆様の施設におきましては、新人を迎え、新年度へ希望と夢を持って新たな気持ちでスタートをされていらっしゃるのだと思います。

安倍政権が誕生して5ヶ月が過ぎた頃ですが、このわずかの期間に日本国の空気が大きく変わったように感じます。

7月の参議院選挙では看護職の組織代表が出馬します。決戦の時が来ました。

「看護の代表を国政に必ず送る」という目標を達成するために、会員一丸となって全力投球しなければいけません。

「働きながら子育てをしたい!」「人手が足りない!」など現場の問題を改善するには、制度を作り、法律を創って変えていかなくてはなりません。そのためには、その場に看護の代表がいることが極めて重要です。看護に関する法律に本気で取り組むのは看護職にかなうものはいません。少子超高齢社会に突入しているいま、磐石な医療提供体制を構築していくことは喫緊の課題です。看護職の職場環境を改善し、いつまでも働きつづけることは、ひいては国民の安心安全な暮らしにつながっていきます。

25年度の重点目標は **1、看護の代表を国政に必ず送る** **2、確かな政策実現力を持つ** **3、強力な集票力を持つ** **4、多くの人材提供力を持つ**、とし、活動目標を 1) 各支部の目標数達成のための実践活動を支援する。2) リーダーの選挙知識を高め、安全な実践力を強化する。3) 若手会員、無関心看護職の政治参加を促進する。4) 看護職の現状を広く社会に紹介する。5) その他必要とする問題に取り組む。といたしました。目標達成のために各支部での具体的な活動計画も企画しています。県連盟は県役員が各地区各施設を担当し、スムーズな支部運営・活動を支えています。

若手会員の育成については、若者が中心になって「第7回全国ポリナビワークショップ in 長崎」の全国大会を実施しましたので、このパワーを青年部の立ち上げにつなげていきます。

“4) 看護職の現状を広く社会に紹介する”は他県ではない活動だと思います。名誉会長を中心に婦人会等の他団体、一般地域住民等へ看護の現状を広く社会に紹介しています。

看護の代表を国政に必ず送るために連盟役員一丸となって頑張りますので、皆様のご協力をお願いいたします。



クサボケ



ごあいさつ

長崎県看護協会・長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

——公益社団法人会員として、ルールを守り、
立派な連盟活動が出来る為に——

- ◎木々の緑がやさしく揺れるそよかぜに「鯉幟日本男子」ここにあり、大中小の鯉が楽しそうに泳いでいる場面、何と平和で豊かな我が国であろうか、日本国民であることの幸せをひしひしと噛みしめながら、幸せとは何か自問自答の中から「健康」であること、その健康を担う看護職者の役割は尊く、かつ、厳しく、山積する諸問題、それは「我が職場を変える」ことである。このために、これまで先輩、同志と共に積み重ねた豊かな経験と看護の心を充分発揮することであります。
- ◎公益社団法人会員として、誇りを持てる、持つことができる活動を（日本看護協会の基本理念）……使命
- ・看護をとおして人々が健康でより豊かな生活が実践できるために、教育と研鑽に根ざした専門性に基つき看護の質向上を図る。
 - ・看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する。
 - ・人々のニーズに応える看護領域の開発展開を図る。
- ◎実践活動の展開……基礎研修で学んだ中味。
- ・政治運動とは
看護職に適切な政治をする人を考える学習（告示前日まで）
 - ・選挙運動とは
適切な人を当選させるために投票すること（告示より投票日の前日まで）
- ◎大同団結こそ組織力
- 基礎学習を礎に、それぞれの役割をしっかりと受け止め、政治運動とは、選挙運動とは、を充分認識し、かつ、理解のもとで活動することによって、やらされる行為でなく自らの行為であること、即ち「やる気」「根気」「本気」の実践活動が「信念こそ我が勝利」一糸乱さず大同団結のもとでルールを守り、自己の責任によって組織力の強化を高め人々が健康でより豊かな「美しい日本国」に看護をとおして寄与貢献できる看護連盟活動を切望すると共に会員ご一同様のお幸せを心からご祈念して、あいさつと致します。

—新緑にしばし心がなごむ日—

（平成25年5月8日記）



3月28日は名誉会長の58歳◎の誕生日でした

ごあいさつ

～第23回参議院議員選挙に向けて～

参議院議員 **高階 恵美子**



暑い夏の日が近づいてまいりました。今夏は新たな看護職議員の誕生に向けて皆様と結束を強める好機を迎えています。看護の精神を貫き糸乱れずお支えくださる皆様の日々のご厚情に深謝しつつ、必ずやその願いが叶うよう、私自身も皆様と心をついに行動してまいります。

看護の専門職としての政治活動は、国民福祉を向上するために何をなすべきか、自らの足元を見つめながら冷静に判断し、未来に向けて自ら行動することの積み重ねです。常にいのちの傍にいて、いのちの臨床で求められる小さな変革を起こしながら、私たちの知識・技術・経験を存分に活かせる成熟社会を実現していくわけですが、そのために最も重要なのは、仲間の思い‘情熱’です。

現在、社会保障制度改革の審議が進められていますが、看護を通して国民の痛みや苦しみを知り、看護を通して国民の願いを叶える努力を惜しまない看護職だからこそ、誰よりも敏感に現実的な社会保障制度上の課題と効果的な解決策を感じ取っているものと確信しています。

だからこそ、良識の府に籍を置き、自らの言葉で社会保障のこれからを説き、次代を生きる人々のために、臨床の第一線が生き生きと輝くような制度的基盤を創り上げることのできる政治の窓口が、ぜひとも必要だと願っています。

いよいよ私たちの熱い思いを結集させ、新たな糸口を切り拓くときです。

いま社会が、生きる力を創り出す牽引力を求めています。ひとの生きる力を守る看護の技を存分に発揮して、私たちの意思を示して参りましょう。

これが私たちの「イシダ!」。お互いの結束を強く。ともにがんばりましょう。

昇格！おめでとうございます



佐世保市立総合病院
副院長兼看護部長
久家 美智代 様



佐世保市立看護専門学校
校長
西村 伊知恵 様

長崎県看護連盟の活動により長年の懸案していた管理者としての登用が認められました！

平成24年度 施設代表者・看護管理者研修会

日時：平成25年 2月 9日(土) 13:30~16:00 場所：ながさき看護センター 4階大会議室
対象：施設代表者・看護管理者・県役員・支部長・幹事長 参加者：175名

日本看護協会会長 坂本 すが氏を迎えて

ねらい 施設代表者・看護管理者として、協会の目指す方向性を共有し、質の高い看護を提供するために阻害する環境を変え、新しい制度を作っていくことの重要性を理解する。

プログラム

- 13:30 開会 長崎県看護連盟会長あいさつ
13:35 講演Ⅰ「日本看護協会がこれからの看護管理者に求めるもの」
講師 日本看護協会会長 坂本すが
15:05 講演Ⅱ「政治運動と選挙活動 安心して活動するために」
講師 長崎県看護連盟名誉会長 山口ミユキ
15:55 閉会



坂本協会会長の講演内容

1. 医療を取り巻く社会の変化

2025年問題として超少子化と同時に75歳以上の受療率の急上昇と高齢死社会の到来がある。

2. 医療・介護提供制度の変革の動き

- 課題** : ◆高齢死社会→住み慣れた地域で暮らすことを支えるために看取りを支える在宅ケアの充実
◆少子社会→少ないマンパワーで国民のニーズにこたえるために
看護職の定着：働き続けられるための環境づくり
チーム医療：それぞれの職種が専門性を高め協働する

3. 看護職が役割を発揮するには（日本看護協会の活動）

「夜勤、交代制勤務に関するガイドライン」の策定

看護師特定能力認定制度

チーム医療の中で各医療スタッフの専門性を向上し役割を拡大する

看護師は「チーム医療のキーパーソン」

- ① 看護師が自律的に判断できる機会を拡大する
- ② 看護師が実施し得る行為の範囲を拡大する

4. これからの看護のあり方

- ① 国民のニーズに応える
- ② 暮らしと医療を支える
- ③ チームで働く

感想

今回の坂本会長の講演は、全国の連盟では長崎県が初めてのことだった。講演の中で会長は、今後の医療を取り巻く社会の変化に対し、看護師の果たすべき役割と課題を多くのデータを使い話された。

看護師特定能力認定制度もそのひとつで、少ないマンパワーで今後の超高齢社会に対応するには、それぞれの職種専門性を高め協働するチーム医療が重要で、看護師が安全に役割を発揮するには

- ① 法制化
- ② 教育
- ③ 安全管理が必要である

1時間半があっという間に終わり、坂本会長のパワフルな講演に引き込まれた講演内容だった。その中で今後の少子高齢社会に対応するためには看護師の業務内容の拡大が必須になってくることを、具体的に話して頂いた。安全に看護師の役割を発揮するために法制化が必要という看護協会の目的達成には、看護連盟の果たす役割が益々重要になると痛感した。

都道府県決起大会 **「ジャンプ」!!**

平成25年 5月12日(日)
13:00~14:20

ながさき看護センター 参加者 645名余

プログラム

13:00 開会

1. 長崎県看護連盟会長 金澤きみ代
2. 長崎県看護協会会長 副島都志子
3. 日本看護連盟会長 清水嘉与子

13:15

4. 来賓挨拶
 - ・ 国会議員
 - ・ 県議会議員
 - ・ 市議会議員
5. 来賓紹介
 - ・ 祝電披露



13:40

長崎選挙区では 古賀友一郎!! 比例区では 石田まさひろ!! 2人で当選して頑張っていきたい。

6. スピーチ

古賀友一郎 (諫早出身・御館山小学校出身)
強く優しい日本。この国の未来の希望を創っていくためには国民の経済力を取り戻すことを目標に長崎と日本のために頑張っていきたい。



石田まさひろ (前日本看護連盟幹事長)
全国を歩きはじめて2000前後の病院、施設を回った。看護協会・連盟は表裏一体と言うことは素晴らしい。看護師は人のために頑張る。人はどうやって亡くなっていくのか。人生の終末を見送れる看護を豊かにするには人手が不足している。看護職の離職を防止する為には、ケアだけではなく国民一人一人が健康に生きていく! そう言う知識を国民に提供することが大事である。



14:05

7. 応援メッセージ
 - ・ ポリナビ
 - ・ 支部より

14:12

8. 応援団

14:20

閉会

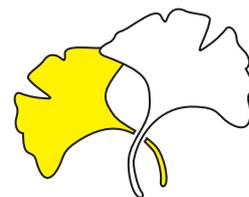




みてみてmy病院

第5回

医療法人 伴帥会 愛野記念病院



当院は島原半島の入り口の雲仙市愛野町にあります。昨年の7月に清潔感にあふれたお洒落な新病院に移転しました。耐震性に優れ最新の高度医療機器の設備を整えており、200床を超える一般病院で年間手術が2000件ほど、救急車搬入が800台を超え、介護保険施設、訪問看護、健康センター、グループホームを併設し、地域密着完結型の病院を目指しています。

ハード面のビジュアルに負けないように、看護部の理念『太陽のように明るく、慈愛に満ちた笑顔と暖かい心で、つねに患者様とともにいます』を念頭に、より質の高い看護の担い手となれるように看護部一丸となって取り組んでいます。



看護部の平均年齢は37.3歳で、ピカピカの新人は勿論、イケメンの男性看護師、子育て真っ最中のママさん看護師、勤続30年のベテラン看護師と、とにかくスタッフが辞めない職場です。ワークライフバランスの推進に病院として取り組み、それぞれの立場で活躍できて看護の喜びも得ながら、無理なく働き続けられる職場環境づくりをしています。

ぜひ一緒に看護を語り、喜びを感じましょう。

文責 看護部長 砂川佳子



たくさんの応募
お待ちしております。

my病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならでは！頑張ってます!!」なんでもOKですよ。

応募方法はこちら → hyk.renmei-nagasaki@shore.ocn.ne.jp または Fax (0957) 49-8066



第7回全国ポリナビワークショップ in 長崎

日時：平成25年5月12日(日) 場所：ながさき看護センター 4階大会議室
14：30～16：30 参加者数：645名（その内県外133名）

プログラム

14：20 オリエンテーション

14：30 開会挨拶 第7回全国ポリナビワークショップ in 長崎実行委員長 小川 正臣

皆さんは職場環境・待遇に満足していますか。将来どうなったらいいかとそれぞれ希望があるでしょう。自分が努力して解決出来ることもあるでしょうが、一人で出来ないこともあります。同じ思い、志を持っている人が協力し、一緒に頑張っていく。それが看護連盟ではないか。皆で協力して未来を創っていきましょう。



14：50 基調講演

「看護の力で日本を元気にする」

前日本看護連盟幹事長 石田 まさひろ

今の国民は病気に対する知識がほとんどない。子供が熱を出しただけで救急車を呼ぶ親もいる。社会がそうさせているのではないか。健康や病気に対する知識は国民が生きる上で必要な知識だが、今は看護師が担っている。私は国民に看護の級を付ける看護道というものを作り、国民全てを看護師としたい。今の看護師には段位を付ける。人の人生を変えるかもしれない仕事が看護師＝黒帯。黒帯（導き手）が白帯（国民）に教えていく。これが看護道。こういう世界をつくることで健康で生きる知恵を身につけることができ、病気になる人が少なくなる。そして段位を持っている人は社会的地位を受ける。これを実現するために国会へ行きたい。ポリナビが行っている活動を看護から国民全体へと広げていきたい。



日本看護連盟会長
清水 嘉与子

長崎県看護連盟会長
金澤 きみ代



15：05 青年の活動報告

《第1回九州ブロックポリナビワークショップ in 福岡》

7県の代表が各県のポリナビ活動について発表していただきました。その中で印象的だったのが、石田まさひろさんを応援する佐賀県の発表でした。

いつも笑顔で しんじる道を突き進む だれにも
まけない さいこうの未来と ひとびとの夢を乗せ ③うどうできる喜びを
与えてくれます。石田まさひろさん頑張ってください。



《全国青年部の活動》

全国から福島、東京、岐阜、京都、広島と遠方からも沢山の発表をしていただきました。東京ではワンコイン検診、訪問看護を行い、岐阜では県議会の環境委員会の見学など、積極的に活動されてきました。

長崎県でもキャラバン隊活動でポリナビの認知度をあげ、ますます活動を広めています。全国の活動報告を聞くことで、各県のカラーを知ることができました。全国のポリナビ会員で切磋琢磨し、長崎県を盛り上げていきましょう。



15:30

長崎県ポリナビ特別委員による看護の未来そうぞう

～看護師サザエさん明るい未来を創る～



未来の看護を目指して今できること

- ・ 看護師として男性が働きやすい環境を作りたい。男性は継続して働くことができ、キャリアアップもしやすい。専門的知識を深めていきたい。
- ・ 仕事では時間や業務に追われ、研修や勉強もかかせない。家庭では出産子育て介護が大変。もう少し看護師が多かったら、よりよい看護を提供出来るのではないか、自分の時間を作れるのではないかと。ポリナビを通して、願いを叶えようとしてくれる政治があることがわかった。政治は遠い世界と思っていたが、一人ひとりが興味・関心を持ち選挙に行くことで未来の看護がかわるかもしれない。
- ・ 患者に必要なアセスメントをしたら、どんな小さなことでもやってみる。それが誰かを動かす力になるかもしれない。小さな意識、小さな行動が未来へ繋がっていく。

懇親会

平成25年 5月12日 17:00～19:00

場所：諫早観光ホテル道具屋 参加者数：185名（その内県外69名）

プログラム

- 17:00 挨拶 第7回全国ポリナビワークショップ in 長崎実行委員長 小川 正臣
長崎県看護連盟会長 金澤 きみ代
- 乾杯 日本看護連盟会長 清水 嘉与子

17:45 龍踊り



17:55 各県参加者紹介

18:40 来賓挨拶
前日本看護連盟幹事長
石田 まさひろ

お礼の言葉
長崎県看護連盟名誉会長
山口 ミユキ

閉会挨拶 長崎県看護連盟ポリナビ特別委員 市田 雅俊

19:00 閉会



おいそ〜❤️



(長崎県看護連盟役員と)

自由民主党政調会長 高市早苗氏を囲んで

去る平成25年 3月30日 自由民主党長崎県連政調会長「瀬川光之氏」(現幹事長)を育てる会が開催されました。その会に高市早苗政調会長が来崎、瀬川氏に対しての応援と国政報告がありました。

平成25年 5月18日(土)に第65回自由民主党長崎県支部連合会定期大会が開催され、昨年に引き続き長崎県看護連盟が表彰を受けました。



平成25年度

長崎県看護連盟通常総会のおしらせ



日時 平成25年 6月29日(土) 13:00~16:30
場所 ながさき看護センター

ぜひ出席しましょう

平成25年 4月17日故見藤隆子先生(前日本看護連盟会長)を偲ぶ会が皇后陛下のご臨席のもと、東京プリンスホテルで開催されました。

編集 後記

全国ポリナビワークショップが長崎で盛会に開催されました。

ポリナビの若者はがんばりました!準備も大変だったと思います。参加されていない会員のみなさまにも知ってもらいたいので今回は詳しく掲載しました。今回のポリナビのメインテーマである「より良い未来を想像し」「現在をどう創造するか」をみんなで考えていかなければなりません。これは石田まさひろ比例区支部長の話にもつながると思います。

編集担当者(伊達木、馬場、村井、森田、上戸、竹下)